

2. 躯体劣化の状態

躯体の劣化調査は、外壁コンクリートの傷み現象の有無・状態・程度を【躯体の劣化度判定基準表】により調べました。主な劣化現象は、コンクリートのひび割れ、鉄筋の発錆・曝裂、コンクリート・モルタルの欠損です。調査の結果は【躯体劣化調査一覧表】に示します。

※但し、バルコニーに関しては立入調査が実施できませんでしたので、報告内容には記載しませんでした。

躯体劣化度判定基準表

現象	劣化度	劣化内容
ひび割れ	A	部分的に発生している。
	B	多数発生している。
	C	多数発生している。
鉄筋発錆・曝裂	A	発生していない。
	B	部分的に発生している。
	C	多数発生している。
欠損	A	発生していない。
	B	部分的に発生している。
	C	多数発生している。

躯体劣化調査一覧表

部位 \ 項目	ひび割れ	鉄筋 発錆・曝裂	欠損	浮き	特記事項
ペントハウス パラペット	B	A	A	B	部分的にクラックの発生あり。
外壁塗装面	B	A	A	A	部分的にクラックの発生あり。
外壁タイル面	B	A	C	B	部分的に浮部分が認められる。
共用廊下壁	C	A	B	A	クラックの発生が多数あり
共用廊下天井	B	A	A	A	部分的にクラックの発生あり。
階段壁面	B	A	A	A	部分的にクラックの発生あり。
階段段裏	B	A	A	B	部分的にクラックの発生あり。
外構塀	B	A	B	B	クラックの発生と塗膜剥離。